

課題名：「富岳」を活用したリモートセンシング技術による高精度データの分析技術及びリアルタイム配信の実証

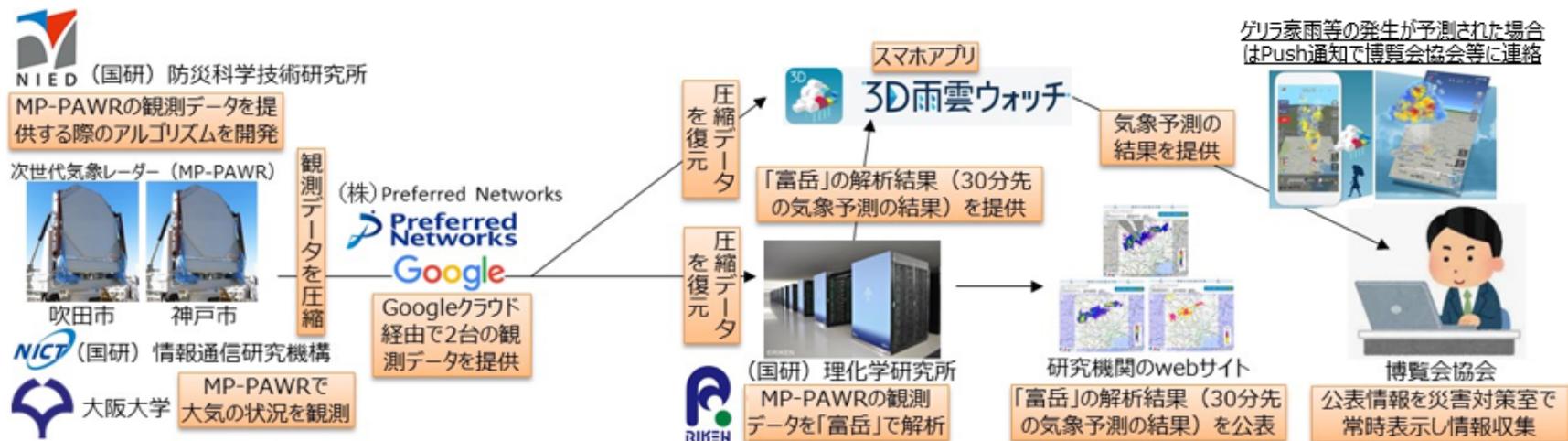
政策的背景

総務省国際戦略局技術政策課研究推進室

- ◆ 2025年に開催される大阪万博のコンセプト「未来社会の実験場」に基づき、最新の気象予測研究の成果を広く世界に発信。
- ◆ フェーズドレイ型の次世代気象レーダー（MP-PAWR）で大気の状態を詳細に観測し、「富岳」の解析によりゲリラ豪雨や線状降水帯を予測。予測結果を博覧会協会等にも共有し、気象庁等の予測情報と合わせて大阪・関西万博の運営に活用。

実施体制・関係機関・詳細

- ◆ 世界初の試みとして大阪・関西万博の会場及びその周辺地域を吹田市・神戸市に設置の2台のMP-PAWRで観測し、「富岳」を活用してリアルタイムで解析を実施。
- ・MP-PAWRで観測（レーダーサイトで観測データを圧縮）し、観測データを「富岳」に伝送。
- ・2台のMP-PAWRの観測データを用いて、「富岳」でデータ同化を行い、30分先までの降水予報を30秒毎に更新。
- ・「富岳」で計算した結果をスマホアプリに提供すると共に、webサイトでも公開。
- ・「富岳」によるゲリラ豪雨等の予測情報をスマホアプリのPush通知機能により博覧会協会や来場者等に提供し大阪・関西万博等の防災・減災に貢献。



想定される具体的成果

- ◆ 大阪万博会場の来場者等に対する安心・安全の確保。
- ◆ 1台のMP-PAWRで観測した場合の技術的課題の解決を踏まえた、2台での観測による予測精度の向上。
- ◆ 災害時等の限られたトラフィック環境下でも膨大な観測データをリアルタイムで伝送するための圧縮・復元手法の実証。